

結果の概要

1 結婚の状況

(1) 第1回調査時の独身者の結婚の状況

第1回調査時に独身であった者のこの9年間の結婚の状況をみると、男 35.2%、女 51.0%が結婚している。また、平成14年成年者と比べ、第1回の結婚意欲が「どちらとも言えない」「結婚意欲なし」では結婚した割合が低くなっている。

第1回調査（平成24年）時に独身であった者のうち、この9年間で「結婚した」割合は、男 35.2%、女 51.0%であり、第10回調査時に「結婚していない」（独身者）者の割合は、男 64.8%、女 49.0%となっている（表1）。

また、第1回の結婚意欲別にこの9年間の結婚の状況を平成14年成年者と比べると、「どちらとも言えない」と「結婚意欲なし」では「結婚した」の割合が男女ともに低くなっている（図1）。

表1 第1回調査時に独身であった者の性、年齢階級別にみたこの9年間の結婚の状況

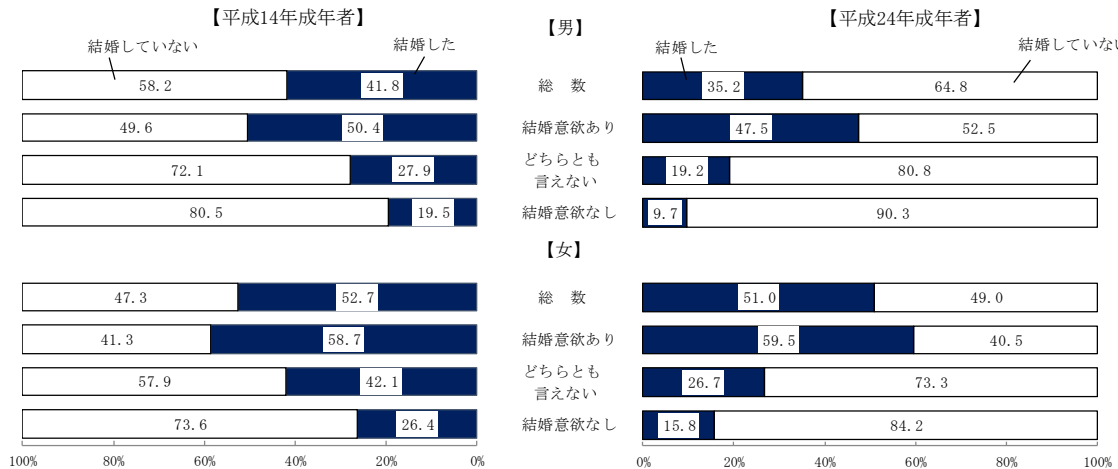
性 第1回の年齢階級 (第10回の年齢階級)	総数	結婚した ²⁾³⁾										結婚して いない
		総数	第1回から 第2回間に 結 婚	第2回から 第3回間に 結 婚	第3回から 第4回間に 結 婚	第4回から 第5回間に 結 婚	第5回から 第6回間に 結 婚	第6回から 第7回間に 結 婚	第7回から 第8回間に 結 婚	第8回から 第9回間に 結 婚	第9回から 第10回間に 結 婚	
男	100.0	35.2	4.6	3.7	4.8	3.8	3.9	4.0	4.4	3.3	2.6	64.8
20～24歳 (29～33歳)	100.0	31.7	0.8	2.3	3.3	3.3	4.8	4.2	5.1	4.3	3.6	68.3
25～29歳 (34～38歳)	100.0	38.1	7.9	5.0	6.1	4.3	3.1	3.9	3.8	2.3	1.7	61.9
女	100.0	51.0	7.4	7.3	6.4	6.6	6.3	5.8	4.4	3.8	3.1	49.0
20～24歳 (29～33歳)	100.0	48.9	3.7	4.3	5.5	6.6	7.2	7.0	5.0	5.1	4.4	51.1
25～29歳 (34～38歳)	100.0	53.0	10.9	10.2	7.3	6.6	5.4	4.6	3.8	2.5	1.9	47.0

注：1)集計対象は、9頁「参考」を参照。

2)9年間で2回以上結婚している場合、最新の結婚の状況について計上している。

3)「結婚した」には、この9年間に、結婚した後離婚した者を含む。

図1 第1回調査時に独身であった者の性、第1回の結婚意欲別にみたこの9年間の結婚の状況【平成14年成年者・平成24年成年者】



注：1)集計対象は、9頁「参考」を参照。

2)第1回の結婚意欲の「結婚意欲あり」は「絶対したい」「なるべくしたい」と回答した者を、「結婚意欲なし」は「あまりしたくない」「絶対したくない」と回答した者を集計している。

3)「結婚した」には、この9年間に、結婚した後離婚した者を含む。

4)「総数」には、「結婚意欲」の不詳を含む。

(2) 独身者の結婚意欲の変化と交際状況

第1回調査時から第10回調査時まで独身であった者の第10回の交際状況をみると、「交際相手あり」の割合は、いずれの年齢階級においても女性の方が男性より高くなっている。

第1回調査時から第10回調査時まで独身であった者について、年齢階級別にこの9年間の結婚意欲の変化をみると、第1回に「どちらとも言えない」又は「結婚意欲なし」のうち、第10回で「結婚意欲あり」に変化した者は、男女ともに第1回の年齢階級が20～24歳の方が高くなっている（表2）。

また、第10回の交際状況を性・年齢階級別にみると、「交際相手あり」の割合は、いずれの年齢階級においても女性の方が男性より高くなっており、男女ともに第1回の年齢階級が20～24歳の方が高くなっている（図2）。

表2 第1回調査時から第10回調査時まで独身であった者の性、年齢階級別にみた結婚意欲の変化

(単位：%)

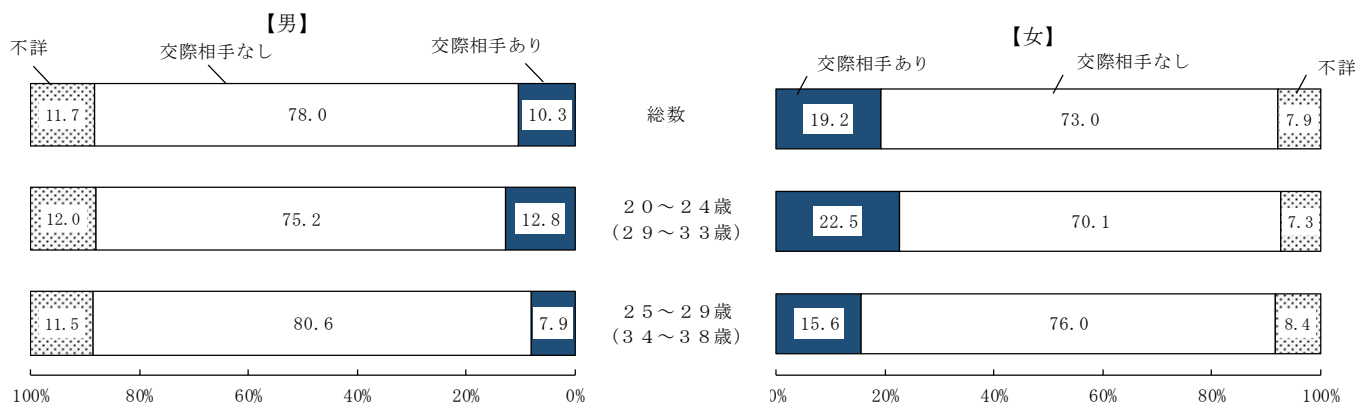
		第10回の結婚意欲									
		男				女					
		総数	結婚意欲あり ²⁾	どちらとも言えない	結婚意欲なし ²⁾	総数	結婚意欲あり ²⁾	どちらとも言えない	結婚意欲なし ²⁾		
第1回の年齢階級、結婚意欲	総数	(100.0)	100.0	42.9	34.0	23.1	(100.0)	100.0	48.5	31.8	19.7
	結婚意欲あり ²⁾	(49.5)	100.0	64.7	27.8	7.5	(63.6)	100.0	65.6	28.0	6.4
	どちらとも言えない	(33.7)	100.0	28.9	46.6	24.4	(24.1)	100.0	23.9	48.7	27.5
	結婚意欲なし ²⁾	(16.9)	100.0	7.0	26.9	66.2	(12.2)	100.0	8.4	18.1	73.5
	20～24歳 (29～33歳)	(100.0)	100.0	45.9	32.7	21.4	(100.0)	100.0	54.5	28.5	17.0
	結婚意欲あり ²⁾	(52.9)	100.0	64.6	27.8	7.6	(64.8)	100.0	72.1	22.7	5.2
	どちらとも言えない	(31.9)	100.0	31.9	44.0	24.2	(23.4)	100.0	28.1	47.7	24.2
	結婚意欲なし ²⁾	(15.2)	100.0	10.3	26.4	63.2	(11.8)	100.0	10.4	22.1	67.5
	25～29歳 (34～38歳)	(100.0)	100.0	40.2	35.2	24.7	(100.0)	100.0	42.1	35.3	22.6
	結婚意欲あり ²⁾	(46.3)	100.0	64.8	27.9	7.3	(62.4)	100.0	58.3	33.9	7.8
	どちらとも言えない	(35.3)	100.0	26.5	48.9	24.7	(24.9)	100.0	19.6	49.7	30.7
	結婚意欲なし ²⁾	(18.4)	100.0	4.4	27.2	68.4	(12.7)	100.0	6.4	14.1	79.5

注：1) 集計対象は、9頁「参考」を参照。

2) 結婚意欲の「結婚意欲あり」は「絶対したい」「なるべくしたい」と回答した者を、「結婚意欲なし」は「あまりしたくない」「絶対したくない」と回答した者を集計している。

3) 年齢は、第1回の年齢階級である。()内は第10回の年齢階級である。

図2 第1回調査時から第10回調査時まで独身であった者の性、年齢階級別にみた交際状況



注：1) 集計対象は、9頁「参考」を参照。

2) 年齢は、第1回の年齢階級である。()内は第10回の年齢階級である。

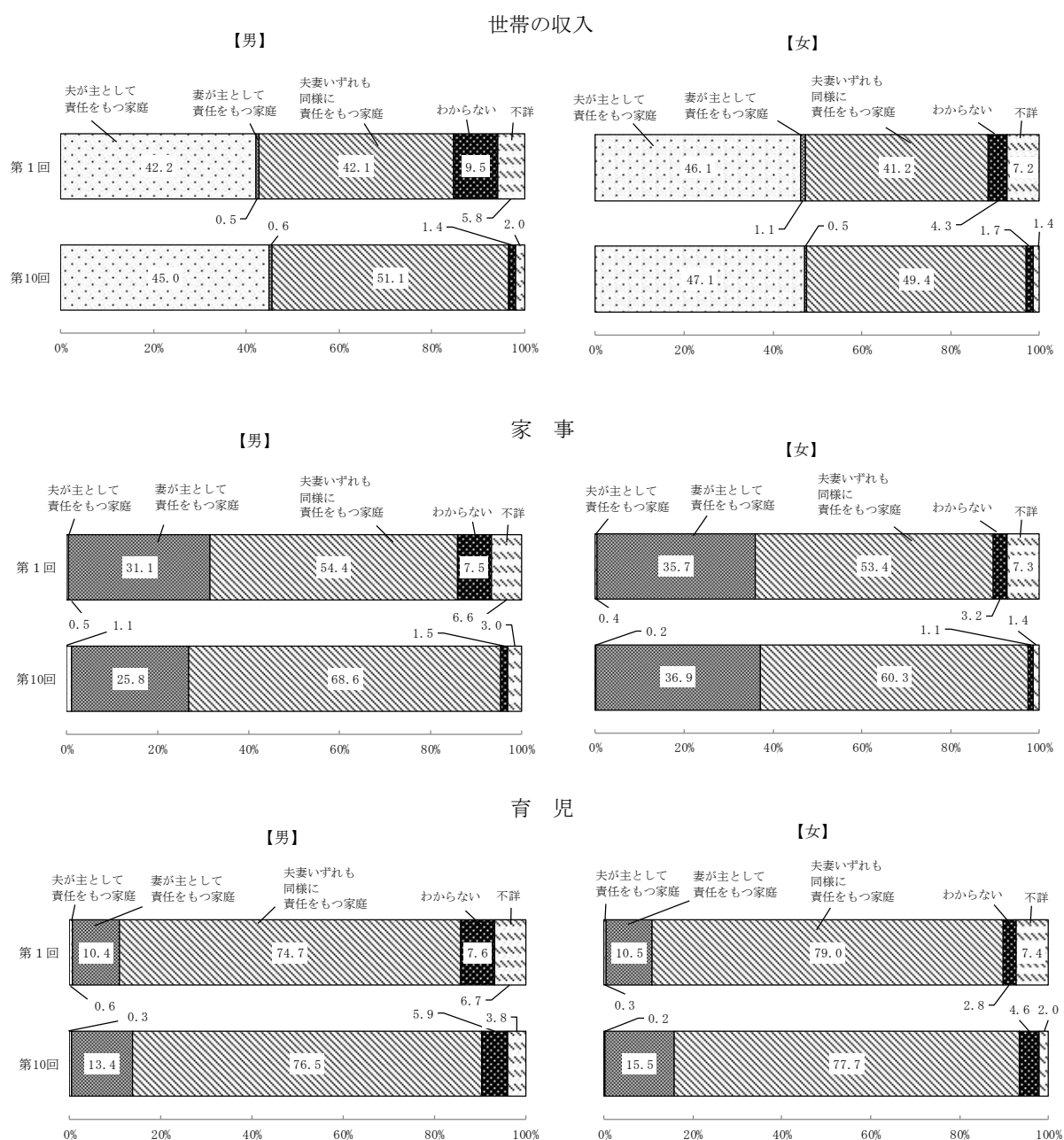
2 家庭観

この9年間に結婚した者の第10回の家庭観（世帯の収入、家事、育児）をみると、いずれの家庭観においても「夫妻いずれも同様に責任をもつ家庭」が最も高い。また、「世帯の収入」「家事」で「夫妻いずれも同様に責任をもつ家庭」と答えた割合は第1回と比べて高くなっている。

第1回調査時に独身でこの9年間に結婚した者の第10回の家庭観（世帯の収入、家事、育児）をみると、「夫妻いずれも同様に責任をもつ家庭」と答えた割合が、「世帯の収入」で男51.1%、女49.4%、「家事」で男68.6%、女60.3%、「育児」で男76.5%、女77.7%と全てにおいて最も高くなっている。

また、「夫妻いずれも同様に責任をもつ家庭」と答えた割合を第1回と比べると、「世帯の収入」「家事」で男女とも高くなっている。（図3）

図3 第1回調査時に独身でこの9年間に結婚した者の性別にみた第1回・第10回の家庭観



注：1)集計対象は、9頁「参考」を参照。

2)第1回の家庭観は、「結婚意欲」が「絶対したい」「なるべくしたい」「どちらとも言えない」「あまりしたくない」と回答した者を集計している（「絶対したくない」は対象外）。

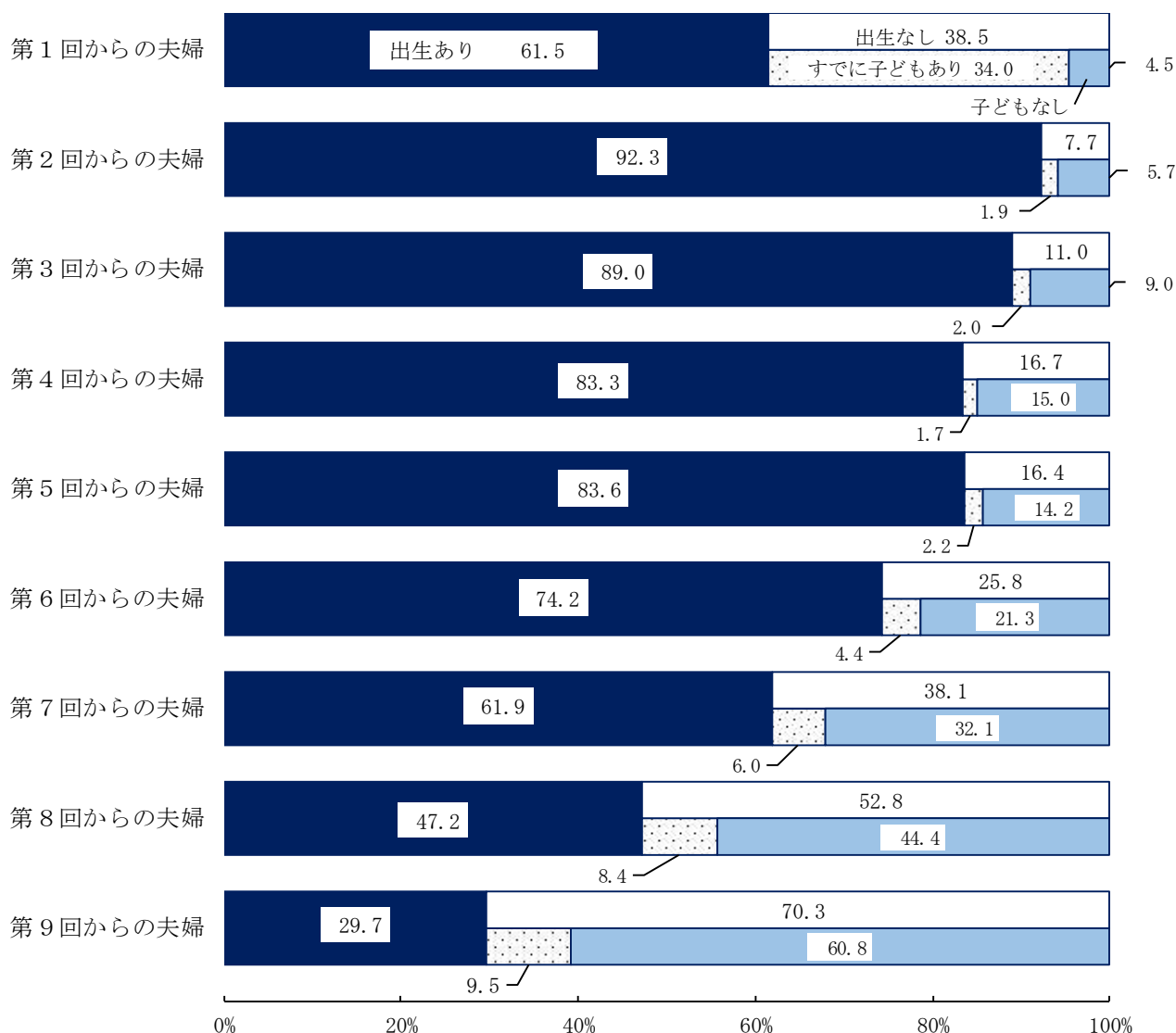
3)「結婚した」には、この9年間に、結婚した後離婚した者を含む。

3 出生の状況

この9年間での出生の状況をみると、「第1回からの夫婦」から「第7回からの夫婦」では半数以上、「第8回からの夫婦」では47.2%、「第9回からの夫婦」では29.7%に1人以上の子どもが生まれた。

この9年間に子どもが生まれた割合は、第1回からの夫婦（第1回調査時ですでに結婚していた夫婦）61.5%、第2回からの夫婦92.3%、第3回からの夫婦89.0%、第4回からの夫婦83.3%、第5回からの夫婦83.6%、第6回からの夫婦74.2%、第7回からの夫婦61.9%、第8回からの夫婦47.2%、第9回からの夫婦29.7%となっている（図4）。

図4 夫婦におけるこの9年間の出生の状況



注：1)集計対象は、9頁「参考」を参照。

2)「第1回からの夫婦」とは、第1回調査時ですでに結婚していた夫婦、「第2回からの夫婦」「第3回からの夫婦」「第4回からの夫婦」「第5回からの夫婦」「第6回からの夫婦」「第7回からの夫婦」「第8回からの夫婦」「第9回からの夫婦」とは、当該調査回に結婚したと回答があった夫婦を計上している。

4 就業の状況

(1) 結婚前後の就業状況の変化

結婚前後とも「仕事あり」の割合は、男 99.5%、女 82.1%。また、結婚前後とも「正規の職員・従業員」の割合は、男 96.1%、女 75.2%

第1回調査時に独身でこの9年間に結婚した者について、その者の結婚前後の就業状況の変化をみると、結婚前に「仕事あり」で結婚後も「仕事あり」の割合は、男 99.5%、女 82.1%となっている。

また、「仕事あり」を就業形態別にみると、結婚前後とも「正規の職員・従業員」であった割合は、男 96.1%、女 75.2%となっている。(表3)

表3 第1回調査時に独身でこの9年間に結婚した者の性、仕事の有無・就業形態別にみた結婚前後の状況

性 結婚前の仕事の有無・就業形態	(単位：%)											
	総数 ³⁾	結婚後の仕事の有無・就業形態										仕事なし
		仕事あり	会社などの役員・自営業主	自家営業の手伝い	自宅での賃仕事(内職)	正規の職員・従業員	アルバイト・パート	労働者派遣事業所の派遣社員	契約社員・嘱託	その他		
男 ³⁾	(100.0)	100.0	99.1	5.5	1.6	0.1	86.2	1.3	0.1	1.6	1.0	0.6
仕事あり	(97.6)	100.0	99.5	5.5	1.7	0.2	87.0	1.2	0.2	1.5	0.9	0.2
会社などの役員・自営業主	(5.5)	100.0	100.0	59.5	-	-	35.1	2.7	-	-	-	-
自家営業の手伝い	(1.8)	100.0	100.0	16.7	75.0	-	8.3	-	-	-	-	-
自宅での賃仕事(内職)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
正規の職員・従業員	(81.0)	100.0	99.6	1.5	-	0.2	96.1	0.2	-	0.7	0.2	0.2
アルバイト・パート	(2.1)	100.0	100.0	7.1	-	-	42.9	35.7	-	7.1	7.1	-
労働者派遣事業所の派遣社員	(0.4)	100.0	100.0	33.3	-	-	-	-	33.3	33.3	-	-
契約社員・嘱託	(2.7)	100.0	100.0	-	-	-	61.1	5.6	-	22.2	5.6	-
その他	(0.7)	100.0	100.0	-	-	-	60.0	-	-	-	40.0	-
仕事なし	(2.2)	100.0	80.0	6.7	-	-	53.3	6.7	-	6.7	6.7	20.0
女 ³⁾	(100.0)	100.0	80.3	2.1	1.2	0.1	56.9	10.5	2.4	5.6	0.9	19.4
仕事あり	(94.8)	100.0	82.1	2.1	1.1	0.1	59.2	10.3	2.4	5.5	0.9	17.6
会社などの役員・自営業主	(2.1)	100.0	89.3	42.9	-	-	35.7	10.7	-	-	-	10.7
自家営業の手伝い	(0.6)	100.0	87.5	-	87.5	-	-	-	-	-	-	12.5
自宅での賃仕事(内職)	(0.3)	100.0	50.0	-	-	-	-	50.0	-	-	-	50.0
正規の職員・従業員	(68.7)	100.0	85.1	1.3	0.2	0.1	75.2	5.1	0.5	1.9	0.4	14.6
アルバイト・パート	(9.9)	100.0	66.2	0.8	0.8	-	9.0	46.6	3.0	6.0	-	33.8
労働者派遣事業所の派遣社員	(2.9)	100.0	69.2	5.1	-	-	7.7	5.1	41.0	5.1	-	30.8
契約社員・嘱託	(7.4)	100.0	77.0	-	2.0	-	14.0	12.0	6.0	40.0	3.0	23.0
その他	(0.7)	100.0	88.9	-	-	-	22.2	11.1	-	22.2	33.3	11.1
仕事なし	(4.2)	100.0	41.1	1.8	3.6	-	7.1	17.9	3.6	7.1	-	58.9

注：1)集計対象は、9頁「参考」を参照。

2)9年間で2回以上結婚している場合、最新の結婚の状況について計上している。

3)結婚前・結婚後の仕事の有無の「総数」「男」「女」には不詳を含み、「仕事あり」には就業形態不詳を含む。

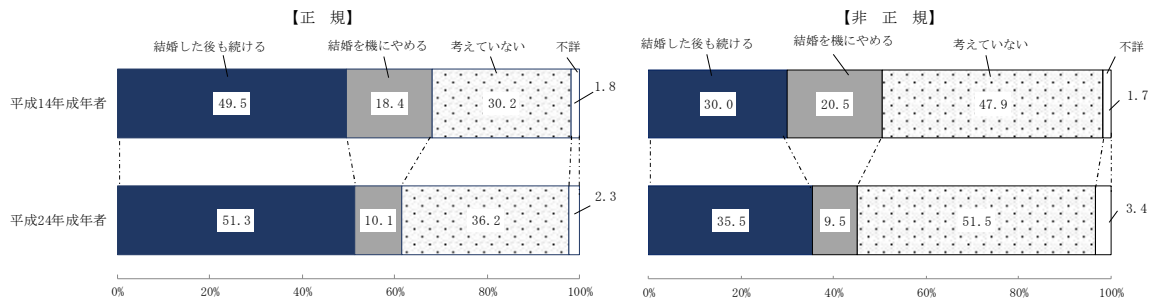
(2) 女性の「結婚後の就業継続意欲」

仕事がある独身女性が「結婚を機に（仕事を）やめる」と答えた割合は、平成14年成年者と比べて低くなっている。また、この9年間に結婚した女性は、平成14年成年者と比べ、いずれの就業継続意欲においても「離職」の割合が低くなっている。

第1回調査時から第10回調査時まで独身であった女性（仕事あり）について、第10回の「結婚後の就業継続意欲」をみると、「結婚を機にやめる」と答えた割合は平成14年成年者と比べ、低くなっている（図5）。

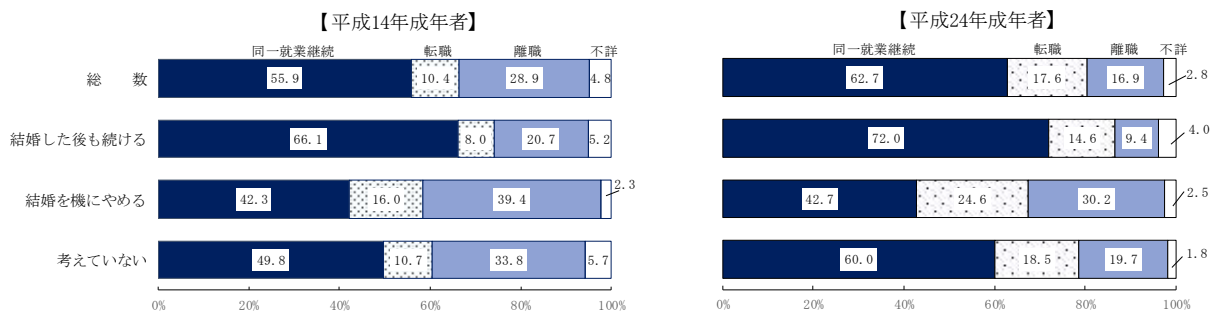
また、第1回調査時に独身でこの9年間に結婚した女性（結婚前に仕事あり）について、第1回の「結婚後の就業継続意欲」別に「結婚後の就業状況」の変化をみると、いずれの就業継続意欲においても「離職」の割合は平成14年成年者と比べ、低くなっている（図6）。

図5 第1回調査時から第10回調査時まで独身であった女性（仕事あり）の
正規・非正規別にみた第10回の「結婚後の就業継続意欲」
【平成14年成年者・平成24年成年者】



注：1) 集計対象は、9頁「参考」を参照。
2) 「結婚後の就業継続意欲」は、第10回の「結婚意欲」が「絶対したい」「なるべくしたい」「どちらとも言えない」「あまりしたくない」と回答した者を集計している（「絶対したくない」は対象外）。

図6 この9年間に結婚した女性（結婚前に仕事あり）の第1回の「結婚後の
就業継続意欲」別にみた「結婚後の就業状況」【平成14年成年者・平成24年成年者】



注：1) 集計対象は、9頁「参考」を参照。
2) 「結婚後の就業継続意欲」は、第1回の状況である。
3) 9年間で2回以上結婚している場合、最新の結婚の状況について計上している。
4) 「総数」には、「結婚後の就業継続意欲」の不詳を含む。